

新たな価値を創出し、 サステナビリティ 社会の持続可能な発展に貢献

ダイキンは事業を通じて社会の課題解決と持続的発展に貢献するために新たな価値創造に向けたマネジメントを中・短期と長期それぞれの視点から行っています。中・短期では事業が社会に与える影響を評価して「CSR行動計画」を、長期的には自社のリスク・機会を予測・特定したうえで「環境ビジョン2050」を策定。戦略経営計画「FUSION」を軸として5年ごとに具体的目標と施策を立案・実行しています。

社会課題と 解決に向けた世界的枠組み

ダイキンが解決に貢献しうる社会課題

- 気候変動の深刻化
- エネルギー・電力需要の拡大と集中
- 大気汚染の深刻化
- 感染症の広がり
- 資源枯渇

世界的枠組み

- 持続可能な開発目標 (SDGs)
- 気候変動枠組条約 パリ協定
- モントリオール議定書 キガリ改正

グループ経営理念

全従業員が考えと行動の
よりどころとする
経営の基本的な考え方



グループの発展の方向を定めた
5年ごとの戦略経営計画

CSR重点テーマについて目標を
定めた5年ごとの行動計画

詳細はP13

● CSR行動計画

● 戦略経営計画「FUSION」

● 環境ビジョン2050

長期視点で温室効果ガス排出実質ゼロに
取り組むための環境ビジョン(2018年策定)

詳細はP9

ダイキンがめざす価値創造

環境負荷を低減しながら、人と空間を健康で快適にする新しい価値を提供します。

地球に対する価値創造

事業活動全体を通じて
環境負荷を低減し、
気候変動の抑制に貢献する

- 製品の環境性能をさらに高める
- 効率的に資源を利用する
- 森林を保全し
森林が持つ機能を維持する



都市に対する価値創造

都市化によって生じる
エネルギー関連課題を解決し、
持続可能な都市づくりに貢献する

- ビル全体・都市全体で
エネルギーを効率的に利用する
- 循環型社会システムを構築する
- 新たなエネルギーを創る



人に対する価値創造

空気の可能性を追求し、
人々の健康で快適な生活に
貢献する

- 安全・安心な空気環境を提供する
- 室内環境を改善し
健康で快適な暮らしを支える
- 生産性を向上させ経済発展に貢献する



<p>7 温室効果ガス削減 （削減率）</p>	<p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● インバータ機の普及などエネルギーの効率向上 ● 低温暖化冷媒の開発・普及 ● ヒートポンプ暖房・給湯の普及 ● 再生可能エネルギーの活用と普及
<p>9 気候と自然環境の 両立を図ろう</p>	<p>11 気候変動による 被害を減らそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）への取り組み ● エネルギーマネジメントやデマンドレスポンスの推進
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産時の省エネ、リサイクル、省資源化への取り組み ● 市場での冷媒転換や回収・再生・破壊 	

<p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱中症や感染症の予防 ● 大気汚染対策
<p>11 気候変動による 被害を減らそう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 人々の健康や心身に対する 空気・空間の価値を創出
<p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 暑さ・寒さからの 解放などによる 生産性向上への貢献

価値創造を支える基盤

人材

従業員、地域の人々の成長に貢献する

- 8** 働きがいも
経済成長も
- 高いスキルを持った人材の育成
 - 雇用創出
 - 地域経済発展への貢献

協創（パートナーシップ）

産官学連携で社会課題解決に貢献する

- 17** パートナーシップで
目標を達成しよう
- 市場価値形成（国際ルール、基準づくり）
 - 人々の暮らしの向上に貢献する
新たなソリューションの創造

2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050